

家庭学習の手引き

学校での学習と家庭学習

山手中学校では、ペアやグループでの意見交換・話し合い活動を中心とする「協働的な学び」を意識した授業をおこなっています。これは、仲間と関わる中で多様な考え方に会い、自分の考えを広げたり深めたりする学習です。学校での学習は、仲間や先生とともに作り出していく学習といえるでしょう。学力とともにコミュニケーション能力を向上させることが期待できます。

また、そのほかにも生徒が自分に合った学習方法で、自ら設定した課題を追求する「個別最適な学び」（自己調整学習）を重視しています。授業の中で自己調整の力を養い、家庭学習につなげていきましょう。家庭学習では、授業で学習する内容をより深く理解するために予習をしたり、学習した内容を定着させるために復習したりするなど、自らの力で学習を進めていきます。時間割やチャイムのない家庭で、自分の意志で学習を進めるには、習慣化させることが何よりも大切です。計画的に学習に励みましょう。

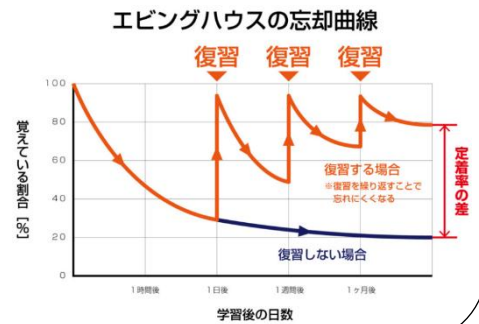
Q. なぜ家庭学習が大切なの？

A1. 自ら学ぶ力を育てるため

分からないことを自分で調べ、考え、解決していく力は、将来にわたって生活のさまざまな場面で必要になります。このような力のもとになる「自ら学ぶ力」を育てるためです。

A2. 学習内容を確実に身に付けるため

人は、一度学習したことも時間が経つとどんどん忘れていきます（右図参照）。くり返し復習することで、学習内容を確実に身に付けることができます。

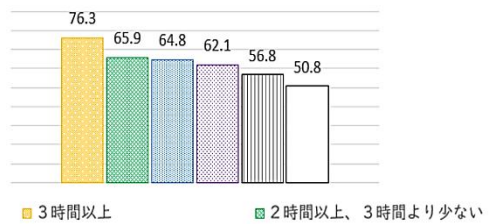


家庭学習と学力の関係

令和6年度の中学3年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査によると、全国と四日市市の子どもの学力について、次のことがわかります。

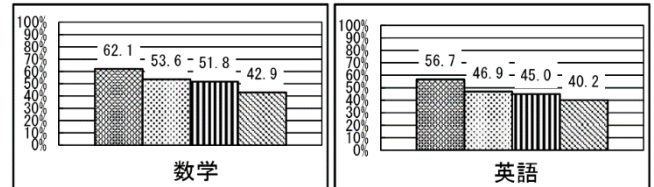
グラフ1は、平日の学習時間と正答率との関連を示しています。家庭学習の時間が長いほど正答率が高くなっており、「3時間以上勉強する」と答えた子どもと「全くしない」と答えた子どもとでは25%以上の正答率の違いがみられます。

資料1 平日の学習時間と小学校算数の正答率



グラフ2は、「家で自分で計画を立てて勉強をしているか」という質問に対する回答と2教科の正答率との関連を示しています。家庭学習を行う時間の長さと学力にも相関関係がみられますが、「自分で計画を立てて」学習を進めている子どもほど平均正答率が高い傾向がはっきりと見られます。

資料2 家で自分で計画を立てて勉強をしているか(学校の授業の予習や復習を含む)の回答



令和5年度 全国学力学習状況調査結果の分析(四日市市教育委員会)より

その他にも、「テレビゲームをしたり、携帯電話・スマートフォンでの通話・メール・インターネットをしたりする時間が短い」「朝食を毎日食べたり、同じくらいの時刻に寝たり起きたりする」など基本的な生活習慣をしっかりと身に付けること、「読書をする習慣がある」こと、「新聞を読む」ことなどが、学力向上につながる結果も出ています。

家庭学習の進め方

【1】生活リズムを確立しよう

下校後の時間をうまく使えるようになることが、第1歩です。帰宅してから寝るまでの数時間を、有効に使えるよう、まずはきちんとした生活リズムを確立しましょう。家庭での日課を立てるのも有効でしょう。お家の人の協力も不可欠ですので、話し合っ決めてくれるといいですね。

人が学習などに集中して取り組むことができる時間は限られています。無理な計画を立てて三日坊主で終わるより、短い時間でも毎日規則正しく続けることが大切です。**決まった時間に、決まった場所で学習に取り組みましょう。**

【2】学習環境を整えよう

「いざ始めよう」というときに、「部屋が散らかっていて勉強する場所がない」「必要な教科書やノートがない」「テレビがついていて集中できない」「携帯やスマホ、マンガなどが近くにある」などの環境では、効率のよい学習は進められません。スムーズに勉強が始められるよう、普段から学習環境を整えておく必要があります。

【3】まずは宿題、そして復習・予習をしましょう

まずは宿題をきちんと行います。宿題をしながら授業内容を思い出し、要点を整理しておくことも大切です。そのためにも、ノートには板書内容を写すだけでなく、考えたことや疑問に思ったことなどをどんどん書き込んでいくとよいでしょう。また、授業中に十分理解できなかったことがあれば、教科書やノートを見直して理解を深めましょう。タブレットでデジタル教材などを活用し、自らの疑問について深く調べたり、自分に合った進度で学習を進めたりすることも有効です。また、予習を行うことで、授業中の理解がより深まるとも言われています。漢字練習や英単語の意味調べだけでなく、教科書を一度読んでおくことで、どんな内容を学習するかを見通しておくことも有効です。

学習時間の目安としては、1・2年生では1～2時間、3年生では2～3時間くらい行えるとよいでしょう。

Q. どうやって学習したらいいの？

A 反復練習型・・・基礎的な知識や、技能を確実に身に付けるために行う。

例) 漢字、計算、英単語などをくり返し練習する。

B 練習問題型・・・学習した内容を確実に身に付けるために行う。

例) 教科書や問題集などの練習問題を解く。

C 発展問題型・・・学んだことを活用する力を身に付けるために行う。

例) 教科書よりも難しい発展的な問題にも挑戦する。

D 授業まとめ型・・・学習した内容をまとめ、深く理解するために行う。

例) 学習した内容のポイントを整理してまとめる。

E 調べ学習型・・・物事を調べる力や調べたことを整理してまとめる力を高めるために行う。

例) 関心のある内容について、本や新聞、参考書などを使って調べ、まとめる。

F 考えまとめ型・・・自分の考えを表現する力を高めるために行う。

例) 新聞記事などを読んで考えたことなどを分かりやすくまとめる。

【4】定期テストを目安として、計画的に進めましょう

定期テスト前に集中して勉強することも大切ですが、普段から計画的に進めることで、より効果的な学習につながられます。テスト期間前に提出物を終え、テスト期間中は理解が不十分な内容や誤答する可能性がある箇所を中心に勉強すれば、学習効率はとても上がります。定期テストの日程を把握し、計画的に学習を進めましょう。

「当たり前のことを当たり前」いわゆる「**凡事徹底**」も学力向上につながります。

- ・あいさつをする
- ・時間を守る
- ・ルールを守る
- ・相手を思いやる
- ・人の話を聞く
- ・返事をする
- ・掃除をする
- ・身だしなみを整える
- ・悪口を言わない
- ・いじめをしない
- ・約束を守る
- ・早寝早起きをする
- ・靴を並べる
- ・整理整頓をする
- ・お手伝いをする
- ・何事にも誠実に取り組む
- ・責任を持って最後まで取り組む
- ・「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言える 等